

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	11	事例No.	09	依頼者	稲沢市立三宅小学校	実施場所	稲沢市立三宅小学校理科室
実施対象	三宅小学校 4 年生全員（1 クラス、27 名）						
実施日時	平成 30 年 10 月 9 日（火）9 時 30 分～11 時 20 分（1 時間 40 分（20 分休憩））						
テーマ	三宅川をとりまく課題を見つけ、三宅川を守っていくために何を知らなければならないか、また何ができるかを考えさせたい。						

●依頼内容

郷土の三宅川を大切に守るためにできることを考える学習（通称：「三宅川クリーン大作戦」）の一環として、水質調査等の体験ができることと水生生物の話ができる講師を紹介してほしい。

●講師：株式会社太陽機構 星野智司氏

三宅川に隣接し、日光川の支流である須ヶ谷川において水生生物調査の実績を有する講師で、依頼者である三宅小学校との面識がある。

自然環境調査とともに水質調査の実績も有している。

●授業の内容

座学 と 実習	水質分析	パックテストによる水質検査を体験しました。 事前に用意された河川水等（三宅川、須ヶ谷川、日光川、木曽川、水道水、ビオトープ池の水、スポーツドリンクの希釈水）を対象に、班ごとにパックテストを実施し、結果を確認しながら黒板にまとめました。	45 分
	水質と生物	パワーポイントにより、三宅川や須ヶ谷川の水質結果や、須ヶ谷川などの水生生物の調査結果等を参考に、水質のきれいなところに生息する生物の説明をしました。	20 分
	水生生物	事前にくみ上げておいたビオトープ池の水を入れた水槽に、理科室内に展示されていた三宅川や町内の水路などに生息している魚などを、1 種類ずつ入れて展示し、子どもたちが魚の種類等を観察しました。	25 分

●授業の様子

班によって水質濃度にばらつきが生じる結果となり、なぜだろうと原因を考える様子も見られました。休憩時間に準備しておいたビオトープ池の水を入れた水槽に、室内に展示されていた水生生物を移す作業を、子どもたちは講師とともに楽しそうに行っていました。パワーポイントを使った河川の水質と生物の説明では、子どもたちと講師の活発なやり取りで盛り上がりました。その後、水生生物の観察が行われ、子どもたちは生物をじっくりしみながら水槽を眺めていました。

川の生物に関する質疑応答の様子



水槽に移された水生生物を観察する子どもたち

